

令和3年度 部局経営目標（達成状況）

年度	令和3年度	作成日	令和4年3月31日
部局名	美甘振興局	部局長名	今石 健司

(1) 部局の役割・使命（ミッション）・経営方針

- 1. 災害に強いまちづくり【No.11:住み続けられるまちづくりを】**
市民の安心安全な暮らしを守るため関係機関・団体と連携を密にし、防災意識の向上と地域連携を図り、地域防災力の強化を図ります。
- 2. 生涯を通じた健康づくりの推進【No3:すべての人に健康と福祉を】**
持続可能な地域社会を実現するための基本となる健康づくりに、各団体等との連携を図りながら取り組みます。
- 3. 地域の強みを活かした地域振興【No11：住み続けられるまちづくりを】**
歴史、文化、風土、景観など地域の強みを活かした市民主体の振興事業や特産品を活用した商品開発などの地域内経済循環を推進し、豊かで自立した農山村の実現及び来訪者・関係人口の増加を目指します。
- 4. 移住・定住の促進【No11：住み続けられるまちづくりを】**
移住者や関係人口獲得など、持続可能なまちづくりを目指す地域団体等の活動を支援します。
- 5. 地域の特性を生かした産業振興【No9：産業と技術革新の基盤をつくろう】**
豊かな地域資源（風習文化・伝統工芸・自然景観・食文化・農林畜産物等）が次世代に引き継がれるようにブラッシュアップし、観光事業など産業に積極的に活用していくことで地域の魅力を全国に発信し、さらなる交流・定住人口の増加を図ります。
- 6. 地域の文化力の向上【No4：質の高い教育をみんなに】**
自然・民俗の歴史を次世代に伝えるために蓄積するとともに、新たな文化及び芸術の創造に取り組み、心豊かな地域を目指します。
- 7. 効率的な「市役所」の経営【No11：住み続けられるまちづくりを】**
常に市民目線に心がけ、市民の身近な行政窓口として、親切・丁寧な対応に努めます。「やるべきこと」「できること」の精査を行い長期的展望に立った戦略的行財政経営をおこないます。
- 8. 行政財産の有効活用【No.11:住み続けられるまちづくりを】**
市民の共有財産である「行政財産・公共施設」について、一層の有効活用のため、地元の意向を把握しながら、管理運営形態や複合的な利用手法を検討します。また、地元協議やH P等での情報発信も積極的に実施します。

(2) 事業成果目標

指標名及び目標値

1-① 自主防災組織の強化 美甘地区の各コミュニティ単位の自主防災組織や愛育委員等各団体を中心に地域の課題を共有、防災マップ点検、避難所設置、運営訓練を含めた連絡会議を実施し、課題解決にむけ地域で支えあえる体制による地域防災力の育成、向上を図ります。	指標:各地区コミュニティの防災組織の連絡会議開催			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	開催回数 1回	1回	新型コロナウイルスの影響により、自主防災組織等各種団体を招集する方式は開催せず。美甘保健文化センターの避難訓練に合わせて、利用者等を対象に避難所グッズ展示や、非常食体験、放水訓練を1回実施。	新型コロナウイルス感染症対策に対応した避難所運営訓練が必要。

<p>2-① 健康づくりのための実践活動支援</p> <p>高齢化が進む美甘管内における持続可能な地域社会を実現するため、地域住民の健康づくりを目的として、元気な笑顔みかも21実行委員会や愛育委員会、栄養改善協議会等が中心となって健康づくりのための活動の定着を図ります。</p> <p>また、健康ポイント事業への参加を促すことで、健康診査やがん検診の受診率を向上や、スポーツ活動等への促進も進め、健康意識の向上を目指します。</p>	<p>指標:①健康づくりチャレンジの参加率、②健康ポイントカードの新規交付者数</p>			
	<p>目標値</p>	<p>実績値</p>	<p>評価</p>	<p>次年度への課題</p>
	<p>①参加率 20%、② 新規健康 ポイント交 付者数 30人</p>	<p>①参加率 9.7% ②健康ポ イント新 規交付者 40人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら健康ポイント事業への参加を促すことで、健康診査やがん検診の受診率を向上や、スポーツ活動等への促進も進めた。健康ポイント事業の啓発により3月末時点で40人の新規申請あり、目標30名を超えた。</p>	<p>家庭での健康事業の定着や、広い世代でのスポーツ活動の習慣化に向けた取り組み</p>
<p>3-① 地域の強みを活かした地域振興</p> <p>地域資源であるクワイエ管谷、香杏館などの施設や、ヒメノモチ、アマゴに代表される自然豊かな四季折々の良質な食材、手まりや古い宿場町が伝える古の文化を、これからの美甘地域の振興にどう活かすかを地域の意欲ある青壮年層や出身者等を中心に議論し、地域の「声」を「事」として行動できる体制、人材づくりに繋げていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美甘ミライ会議（勉強会、検討会）3回 ・みかもっとシリーズイベント（ミライ会議のアイデアを地域若手中心に企画、運営し事業化）3回 	<p>指標:若者アクション開催</p>			
	<p>目標値</p>	<p>実績値</p>	<p>評価</p>	<p>次年度への課題</p>
	<p>6回</p>	<p>6回</p>	<p>7月には形式の夏まつりの花火をWeb動画配信で行うなど、地域で創意工夫した美甘夏まつりを7月24日に実施。今後は美甘ワカモノ・アクション会議などが主体となり美甘らしい地域活性化の取組を支援していきます。</p> <p>美甘若者アクション会議 4回（夏まつり配信、みかもっと企画2回、おこわプロデュース1回）</p> <p>勉強会Web2回（政策アドバイザーとの勉強会）</p> <p>また美甘地域の空き家を真庭市交流定住センターとの連携により、住宅購入した2世帯が移住。（鉄山、美甘）</p> <p>美甘地域の「グランパ美甘」や各種団体等と移住希望者を繋ぎ、地域での移住時のニーズに応じたワンストップサポート体制を構築していきます。</p>	<p>地域の若者世代での議論がスタートしたため、若者主体の議論が活性化できるよう地域内外の人材やアドバイザーを活用しつつ盛り上がりサポートを行う必要がある。</p>

4-① 空き家を活用した移住・定住の取り組み 美甘地域で空き家の活用を考える「グランパ美甘」や真庭市交流定住センターとの連携をより一層進め、移住希望者へのきめ細やかな情報発信や、地域での移住時のニーズに応じたサポート体制を確立します。	指標:サポート実施件数			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	3件	3件	美甘、鉄山地域への3世帯移住。グランパ美甘や交流定住センターと対応主体が異なり、受け入れ時の共有できる情報が少なく、移住後のサポートが必要な事案対応のため連携強化が必要。	移住希望者へのニーズに応じる地域でのワンストップ支援体制の確立
5-①地域の特性を生かした産業振興 クリエイト菅谷の新指定管理者により、サービス内容の充実や食堂運営の強化など、新たな事業展開を実施することで、従来の県南からのファミリー層の利用者だけでなく、小中学校の体験学習、美甘ドームを活用したイベント招致等の営業を実施するなどして利用者の拡大を図っていきます。特に指定管理者と地域との連携を強化するため地域協議会の立ち上げをサポートし、地域内外の人材連携、地域の産品活用の拡大を推進します。 また、道の駅的な運営を行うことで国道181号の通行者利用や隣接自治体、蒜山、湯原との周遊ルートとして、年間を通じて施設を利用できるよう、広く情報発信に努めます。	指標:利用者数			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	10,000人	利用者(3月末) 10,858人	R3年4月から新指定管理者により運営。本来事業の宿泊施設はコロナ禍でのアウトドアブームの影響やネット予約などを導入した効果もあり、前年度を上回る利用があった。 自主事業の食堂運営は新型コロナウイルス感染症の影響もあり常時開店に至っていないが、宿泊者向け食材提供や古代米などの県南への販売など産品活用の新たな動きにつながっている。	地域食材の提供をはじめ、地域との連携をし、地域内外の人材を活用して美甘地域で施設の活用を議論していく必要がある。

5-② 地域の特性を生かした産業振興 廃校活用による6次産業化拠点施設で加工する商品及びクリエイト菅谷の指定管理者の新たな加工事業について、事業者と連携し、加工製造強化、販路開拓・拡大のサポートを推進する。特にヒメノモチの生産拡大については、高齢化による作付け者減少も見られることから、圃場での真庭型循環農業として、土づくりやスマート農業技術を活用した省力化、品質及び収量向上による優位性を確立し、美甘産ヒメノモチの魅力を向上することにより、担い手確保とヒメノモチの生産拡大を図ります。	指標：美甘地域ヒメノモチ作付面積			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	35ha (3051 俵)	ヒメノモチ 作付実績 34.7ha	<p>クリエイト菅谷の加工事業では、美甘おこわ会との一次加工場として加工の地域との連携を図った。美甘おこわパッケージのプロデュースを地域出身のクリエイターや市内デザイナー参画により実施。</p> <p>美甘のもち屋では今年度から生産設備投資や工場直売もスタートし直売事業も強化した。真庭おもいやり事業も活用し市外への販売拡大を図り加工150俵超を達成している。</p> <p>2021年度ヒメノモチ作付実績</p> <p>・美甘ヒメノモチ作付面積、生産者</p> <p>2021年 34.7ha 64名 (2020年 34.9ha 70名)</p>	<p>クリエイト菅谷の加工施設活用を地域と連携して進める体制づくり。</p> <p>もち加工については、生産能力と販売増加したため、地域での作付け推進やシェア工房の活用方針を検討する必要がある。</p>

6-① 地域の文化力の向上 美甘図書館が地域に愛され、気軽に立ち寄れる場になるよう、環境づくり雰囲気づくりを行い、利用者ひとりひとりのニーズに対応したサービスを提供できるように取り組みます。 また、豊かな感性や豊富な知識が養われるよう、本の紹介や読み聞かせをこども園や小学校で実施することで、本に親しみ園児・児童に親しまれる図書館を目指します。	指標：実質貸出利用率			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	8%	6.70%	利用しやすい雰囲気づくりを企画、推進している。毎月の定例行事の参加者数はまん延防止期間中以降は減少傾向。 雰囲気づくりとともに新規の利用者が本を手にとってもらえるよう、地域イベント（みかもっとシリーズ）と連動した図書館利用の発信も1月に実施し、美甘地域以外の新規利用者も増加した。	地域の幅広い世代が図書館を気軽に利用できるよう、地域振興事業などとも連携して利用推進を図る。
7-① 効率的な「市役所」の経営 美甘振興局は、地域住民が利用しやすい地域のほぼ中央に位置し、金融、図書館、診療所と地域機能が集約される保健文化センターとして機能しており、毎日多くの団体等が利用しています。今後も、さらに地域住民が身近に利用でき、広く親しまれるワンストップ窓口として、施設の利用促進を図っていきます。	指標：保健文化センター利用者数			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	延2,500人	2,470	文化祭等を新型コロナウイルス対策を行いながら実施。地域の会議についても保健文化センターに集約化が進んでいる。	新型コロナウイルス感染症の対策を引き続き行い、活用しやすい環境作りを進める。
8-① 管内公共施設の有効活用及び効率的運営の推進 クリエイト菅谷事業の事業経営戦略の策定に取り組みます。施設の効率的な運営、計画的な補修、修繕について、経営・財務マネジメント強化事業のアドバイザー派遣制度等を活用して策定を実施します。	指標：クリエイト菅谷の経営戦略			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	年度内策定	3月策定	アドバイザー派遣制度を活用し、現状分析から将来計画案を3月に策定。施設改修についてはR4年度宿泊施設の改修事業を実施。	経営戦略に基づき、クリエイト菅谷の改修長寿命化を図るとともに、美甘地域の10年後の姿を地域で議論していく必要がある。